

「審美補綴に必要な天然歯形態と色彩表現」

片岡繁夫

自然で美しい調和の取れた顔貌及び口腔を作る為には、天然歯の「形態」と「色彩」を再現することが必要である。

形態においては、歯牙の大きさ、長さ、歯列での歯牙の位置関係が大切である。

さらに歯牙の「質感」を表現する「表面性状」を再現することも大切である。

患者の顔貌に調和する歯牙形態及びプロビジョナルレストレーションにおいて検討を重ね、顔貌との自然な調和を作り出すことが、審美補綴において最も大切である。

色彩表現は天然歯にみられる層構成による色彩を知る事が大切であり、象牙質とエナメル質の層構成を再現することで、歯牙の色彩は表現できる。

ラミネートベニア、プレスセラミックス、ジルコニアクラウンとインプラント補綴を含めた症例にて、審美補綴において、天然歯形態と色彩表現の大切さをお話しします。